

## 平成 31 年春期 システム監査技術者試験 合格発表 アイテックコメント

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2019,6,21

4 月 21 日 (日) に行われた平成 31 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、システム監査技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■システム監査技術者試験 (AU)

[平成 31 年春期のシステム監査技術者試験 統計情報]

応募者	4,175 人
受験者	2,879 人
合格者	421 人
合格率	14.6%

平成 31 年春期のシステム監査技術者試験の合格率は 14.6% で、前回の 14.4% とほぼ同じでした。

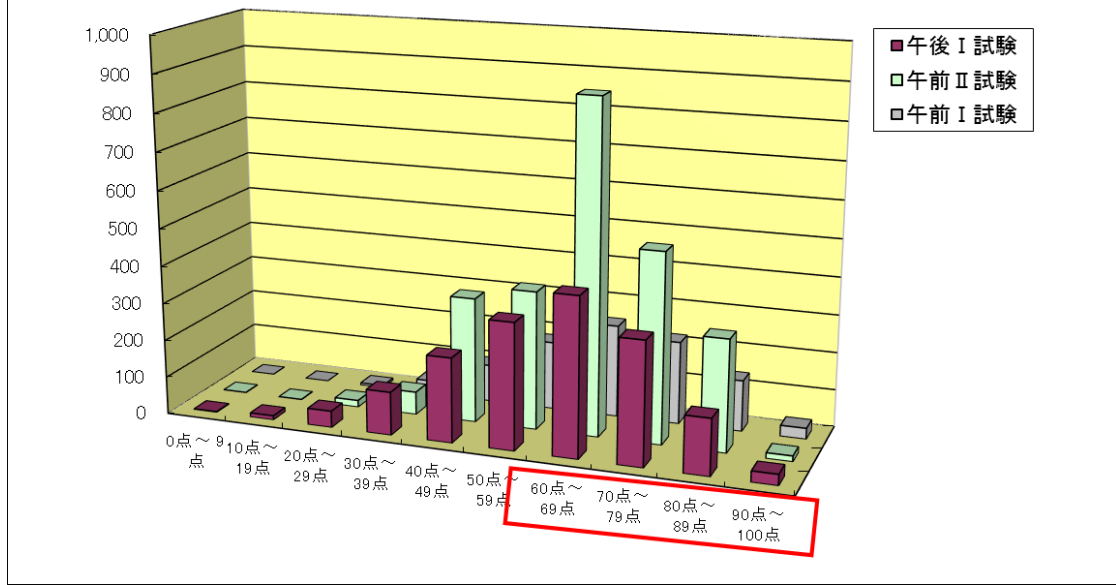
次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

(平成 31 年春 システム監査技術者試験 スコア分布)

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	1	2	D	105
10 点 ~ 19 点	0	1	11		
20 点 ~ 29 点	6	18	44	C	113
30 点 ~ 39 点	36	61	115		
40 点 ~ 49 点	99	332	225	B	278
50 点 ~ 59 点	182	367	335		
60 点 ~ 69 点	246	878	420	A	421
70 点 ~ 79 点	220	503	326		
80 点 ~ 89 点	136	297	149		
90 点 ~ 100 点	29	15	29		
計	954	2,473	1,656	917	421
対前試験比率		259.2%	67.0%	55.4%	45.9%
午前免除者 (概数)	1,925	66.9%			

合格者数	421	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	631	66.1%	210
午前 II 60 点以上合計	1,693	68.5%	1,272
午後 I 60 点以上合計	924	55.8%	503
午後 II -A 評価	421	45.9%	0

平成31年春 システム監査技術者試験 得点分布



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 1,925 人（66.9%）おり、受験者の 7 割弱の人が午前 II からの受験となっています。この午前 I 試験で基準点 60 点以上取ることができた人は 631 人（受験者の 66.1%）でした。

午前 II 試験で基準点以上の方は 1,693 人（受験者の 68.5%）で前回の 78.5% から 10% 下がりました。新しいシステム監査・管理基準の出題がありましたが、他の新傾向問題が少し難しく平均点を押し下げたようです。

午後 I で基準点（60 点）以上取れた人は 55.8% で、前回の 52.3% から増加しました。

午後 II で合格点の A 評価だった人は 45.9% で、前回試験の 41.1% と比べてこちらも増加しています。新しいテーマの出題がありましたが評価が下がることはありませんでした。

■平成 31 年春期 システム監査技術者試験の出題内容について

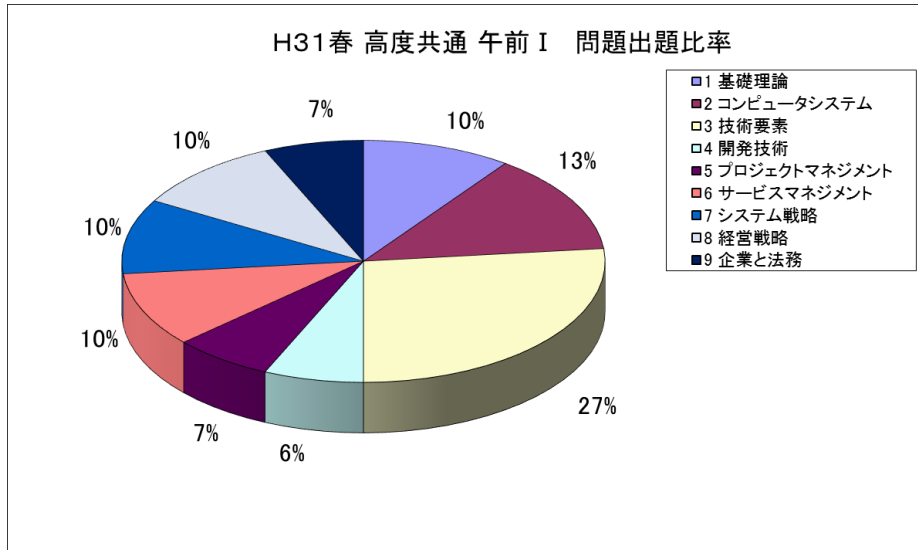
（午前 I 試験（高度試験の共通知識問題））

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験（AP）から選ばれています。今回の問題内容は、文章問題は 17 問（前回 15 問から増）、用語問題は 3 問（前回 6 問から減）、計算問題が 3 問（前回 5 問から減）、考察問題が 7 問（前回 4 問から増）でした。これらは毎回増減があります。
- ・これまで出題範囲からまんべんなく問題が出されていましたが、前回出題されなかった「システム構成要素」は今回出題されました。
- ・過去問題が約 7 割ありましたが、解答しづらい問題は少なく、全体として解答しやすい出題内容だったといえます。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・新傾向問題は次の 3 問で、これまで平均 4~5 問あった中ではやや少なかったといえます。

（新傾向問題）

- 問 24 ワントゥワンマーケティングを実現するソリューション
- 問 27 オープンイノベーションに関する事例
- 問 28 IoT 活用におけるデジタルツインの説明

平成 31 年春期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



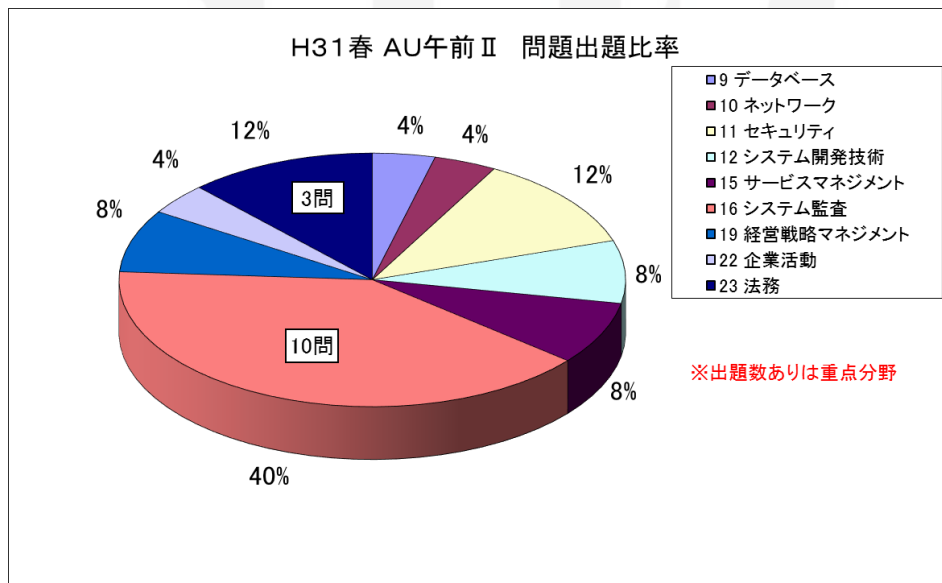
(午前 II の専門知識問題)

監査の専門分野からの出題数は前回と同じ 10 問で、ここ 3 回同じ出題すうです。

システム監査の事例では、ネットワークやセキュリティの技術を理解している必要があるものが多いので、不足している知識については、日頃から知識を身につけていく必要があります。

今回は 14 年ぶりに改訂された新システム監査基準、システム管理基準の内容も出題されましたが、詳細な変更内容を問う問題はなく、大きな影響はなかったといえます。

平成 31 年春期のシステム監査技術者試験 午前 II 問題出題比率



過去のシステム監査技術試験問題の出題は 8 問で以前の傾向に戻りました (前回 4 問)。また、新傾向問題としては次の 7 問がありました。前回の 3 問から大きく増えていますが、今回は監査基準や管理基準の改定が合ったことの影響と思われる。

問 1 IT ガバナンスにおける説明として採用されているもの (EDM モデル)

問 3 IT ガバナンスを成功に導くための望ましい原則

問 5 アジャイル開発において留意すべき取扱い

問 10 情報システムの“マネジメント”を監査対象とする場合に考慮する項目

- 問 11 事業関係マネージャが責任をもつ事項  
問 13 営業秘密侵害罪として刑事罰の対象となる時点  
問 23 ソフトウェア廃棄の実行アクティビティで実施するタスク

次に、午後Ⅰと午後Ⅱ試験の分析結果をお知らせします。

#### 〔午後問題〕

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問題事例を理解するのに技術知識が必要なものは特にありませんでした。これまで本文の穴埋めをする設問がありましたが、今回は1問もありませんでした。また、設問文のほとんどが、単純な「～を述べよ」という形式で、“～”には（リスク、確認内容、取組、理由、助言内容、対策、施策）などが入るスタイルです。問題で詳細が述べられていない場合は、監査人としての考えを書く必要があります、少々解答しづらかったと思われまます。

#### 問 1 RPA (Robotic Process Automation) システムの監査 (流通業) 普通

RPA 導入概要、全社適用のための監査、予備調査、システム概要、実行環境、RPA システム変更、本調査の結果、導入リスク、稼働リスク、ID・パスワード管理、変更管理手順の確認、費用対効果

#### 問 2 システム開発計画の監査 (機械部品・工具製造販売会社) やや難

開発計画、予備調査結果、リスク洗い出し、本調査結果、監査手続書、監査人の助言、本調査の実施、要望事項確認、ヒアリング必要性、進捗状況の把握、リリース前の体制、委託先との合意

#### 問 3 基幹システムのオープン化の監査 (中堅機械メーカー) 普通

オープン化の段階、システム再構築方針と概要、各工程実施内容、想定リスク、本調査確認ポイント、分析工程詳細の確認事項と実施内容、進捗遅れ理由、リスク軽減策、対応計画確認事項

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。前回のアジャイルに続き、今回もこれまで出題されていないテーマ (IoT システム企画、セキュリティ規程見直し) といえます。

#### 問 1 IoT システムの企画段階における監査について

IoT システムの概要、システムのビジネス上のメリット、想定すべき IoT 特有のリスク、企画段階における IoT システムの開発、運用、保守、セキュリティの方針・基準の適切性確認の監査手続

#### 問 2 情報セキュリティ関連規程の見直しに関するシステム監査について

セキュリティ関連規程の見直し概要、背景、影響を与える IT 資産の管理と利用、関連規程の見直し手続の適切性を確認する監査手続と留意事項、規程の周知徹底計画と徹底状況の適切性を確認する監査手続と留意事項